



Q&A

Q) DDPとDDUの違いは何ですか？

A) **DDP**とはDelivered Duty Paidの略で、海上運賃及び客先までの貨物保険料、現地港費用、関税、通関料、客先配送費用を荷送人(SHIPPER)が負担する場合の支払い条件を指します。一方、**DDU**とはDelivered Duty Unpaidの略で、上記のDDPの支払い項目のうちから関税と通関料を抜いたものになります。従って、関税と通関料は荷受人(CONSIGNEE)の負担となります。どちらもお引き受け可能です。ブッキングお待ちしております！

ジャパトラマンのほやき

引越し貨物の繁忙期

業界によって輸出入の繁忙期というものがあると思いますが、先月まで繁忙期を迎えていたのが「海外引越し」の業界です。国内の場合は、3月から4月にかけてが1年を通して最も引越しが多くなる時期です。その理由は就職、転勤、入学などがこの時期に重なることが多いためです。一方、海外引越しはというと、3月から4月までと7月から8月までが繁忙期になります。それも日本と同じように新学期が始まる前のタイミングのためです。ちなみに日本人の生涯における平均引越し回数は約5回なのに対し、アメリカ人は何と16回。しかも平均5年でまた引越しとするというデータもあります。アメリカ人は、家に固執しない身軽な人種のようなようです。また日本人が海外転勤などで荷物をまとめたとしてもLCL貨物になることが多いようですが、外国人の場合はFCLで40'DRYコンテナや40'HCコンテナを使用することもめずらしくないようです。なお、今年の海外引越し業界は例年と比べて異変が起きています。悲しい事ですが、東北沖大震災について海外メディアはヒステリックな報道を行い、それによって在日外国人のパニック的な帰国ラッシュの悪循環に陥っています。ニューヨーク・タイムズ等は発生日以降、連日、大々的に地震関連ニュースを1面に載せていましたが、焦点をあてているのは、東北地方での深刻な災害や救助活動の取材よりも、福島原子力発電所から放射能が東京まで来る恐れや在日外国人の感想、避難の計画などでした。そして在日外国人の多くは、唯一の情報源である英語のメディアを目にして海外に避難・・・欧州をメインに大量の外国人が海外引越しをする事態に陥ったのです。なかには身一つで海外（故郷）に戻り、残された自分の荷物は自身が梱包の立ち会いを行わずに対応してほしいとの要望も少なからずあったようです。また逆に来日を予定していた外国人の貨物だけが日本に到着し、倉庫に保管されたままという状況も発生しているようです。今回の震災の影響で日本を訪れる外国人の数が激減しているようですが、早く原発事故の風評被害を払しょくし、美しく平和で素晴らしい国だということを改めて理解してもらい、多くの外国人の方々が訪れてみたい国に戻ってくださることを願っています。

東京支店 臼井

Employee's Profile

はじめまして、今年2月に入社致しました鈴江 桂子と申します。前職の住宅設備機器メーカーの株式会社では、総務や営業企画といった間接部門で働いておりました。現在は名古屋の内勤営業として、主にお見積もりのご提示や船の手配等を担当させて頂いております。常に事務所内におりますので、お困りのことがありましたら何なりとお気軽にお声掛け下さい。お客様と直接お会いする機会は少ないと思いますが、お客様に喜んで頂けるようきめ細やかなサービスをご提供できるように努めてまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

名古屋本社 鈴江 桂子

